

ファミリーからカップルまで、キャンピングカーならキャンプも旅行も大満足!! 一般社団法人 日本RV協会発行 JRVAs

くるま旅

Kuruma Tabi

®

FREE MAGAZINE 2018 vol. 14

キャンピングカーライフを楽しもう!

みんなで遊べば、
楽しさ**100**倍!



泊ってみたい! 泊ってみよう!!
RVパークに**行**こう!!



キャンピングカーライフを楽しもう！ みんなで遊べば楽しさ100倍



くるま旅からオフ会まで アクティブに楽しむ！

CASE
01

ファミリー×キャブコン
吉田さんファミリー(愛知県)



長年自作バンコンで趣味や旅行を楽しんできた吉田さんは、5年前にハイエースベースのキャブコンを購入。現在は、家族そろって以前よりもさらに充実したキャンピングカーライフを送っている。

遊び方のメインは、キャンピングカーに寝泊まりしながら各地を回るくるま旅。年末年始やGWには、中学3年生の長女を含む家族5人で1週間程度のくるま旅をするのが、吉田家の恒例行事だ。これまでに、青森や秋田、山形、高知、九州など、日本中を走り回り、行き当たりばったりの気ままな旅を楽しんできた。くるま旅の一番の目的は、地の物を食べることで、地元の人と交流すること。ガイドブックに頼らず、できるだけ地元の人に声をかけて情報を集め、観光地以外の穴場でのんびりと過ごすのが、吉田さん流の旅のスタイルだ。

家族全員で出かける機会が多いことから、「より安全・快適に乗れるように」と愛車の走行性能にこだわっているのも、吉田さん流だ。もともとスポーツカーでサーキット走行を楽しんでいたことから、その経験を生かしてキャブコンの足回りを自分流に

グレードアップ。スポーツカーのように「速く走る」のが目的ではなく、あくまでも「安定感と乗り心地を高め、安全性と快適性を向上させる」ことを念頭に、購入したビルダーが感心するほどのハイレベルな足回りセッティングを施している。

また、吉田さんは同車種のオーナーの交流の場として、オーナーズミーティングも定期的に主催している。「キャンピングカーが訪れ、積極的に地元で買い物をしたり食事をしたりすることで、地域振興を図る」「キャンピングカーがより社会に受け入れられるように」をコンセプトに掲げ、ミーティングの際は、必ず地元自治体と連携して駐車場やバーベキュー場所の許可をとり、ミーティング終了後には全員で清掃活動を実施。キャンピングカーを通して、そうした取り組みも積極的に行っている。

家族とのくるま旅から、オーナーズミーティングの主催まで、1年を通してアクティブに動き回る吉田さん。現在は、受験生の長女の勉強の邪魔にならないように、下の子供たちを連れてキャンピングカーで温泉に出かけるのが日課なんだとか。

家族全員 キャンピングカーが大好き！

旅先で食材を購入して車内で食事をするのも、広々としたキッチンで洗い物も快適。



子供たちにとって、キャンピングカーは秘密基地のようなもの。自然と笑顔がこぼれる。

キャンピングカーでも走行性能にこだわる！



「速く走る」のではなく、あくまでも「安全・快適に走る」ことを目的に、キャブコンの足回りをグレードアップ。足回り専門のプロショップで10回以上のダンパーセッティングを繰り返し、走行安定性と乗り心地を両立した理想の足回りに仕上げた。運転席は、ホールド感の高いフルバケットタイプに換装し、長距離運転の疲労を軽減している。

行政とタッグを組んでミーティングを主催！



オーナーズミーティングも積極的に開催。その際は、「キャンピングカーを通じた地域振興」を目的に行政側と事前交渉や打ち合わせを行い、駐車場やBBQ場所の正式な許可を得る。参加ユーザーは、感謝の気持ちを込めて地元で買い物や食事をしたり、清掃活動を行う。そうした活動に賛同したキャンピングカーユーザーが、毎回大勢ミーティングに集まる。



キャンピングカーライフを楽しもう！
みんなで遊べば楽しさ100倍



年末年始やお盆の休暇を利用して
夫婦で日本全国くるま旅！



CASE
02

夫婦×バンコン
山本さん夫妻(東京都)

くるま旅で
日本中を回ってます！

東京在住で、10年以上もクルマのない生活を送っていたという山本夫妻は、たまたまテレビで見たキャンピングカーショーに遊びに行つてその魅力にはまり、6年前に現在のバンコンを購入。夫婦2人旅を前提に、「マルチルームがある」「リアセミダブルベッド」のモデルを選択した。

もともと旅行が大好きでバスや電車のツアーにもよく参加していた山本夫妻だが、初めてのキャンピングカーを手に入れてからというもの、旅の回数は激増。年末年始、お盆、GWの休暇を利用して、キャンピングカーで夫婦2人旅を満喫している。「時間に縛られたツアー旅行と違って、自由な旅ができるのがキャンピングカーの魅力です

ね」という山本さん。桜や紅葉を目的とした旅行も毎年の恒例だが、その際も天気や見頃を考慮したベストタイミングで出かけるのが利点だとか。

これまでに、北は北海道、南は九州まで、全国の観光スポットを訪問してきたほか、夫婦共通の趣味である登山を楽しんだり、仲間たちとキャンプをしたりと、充実したキャンピングカーライフを満喫中。「キャンピングカーに乗って、人とのつながりや遊びのバリエーションが増えました。これからも自分たちのペースで、ゆったりと旅を楽しんでいきたいですね」。山本夫妻のキャンピングカー旅は、これからも末長く続いていくことだろう。



長崎

長崎県の雲仙温泉にて。年末年始の休暇を利用して九州をほぼ1周した。



北海道

北海道はこれまでに3回訪問。写真は、大雪山黒岳に登頂した時の1枚。



岐阜

岐阜県の白川郷で記念写真。お盆休みには毎年くるま旅を満喫している。



奈良

奈良県の吉野千本桜。ベストタイミングで桜めぐりをできるのが魅力だ。

年末年始の休みを利用して四国1周。高知にある四万十川の沈下橋にて。



高知

広大な富士山を間近に眺めながら、仲間たちと贅沢なキャンプを楽しむ。



富士山

岩手県・小岩井農場の桜並木。毎年桜めぐりのくるま旅を楽しんでいる。



岩手

「子供たちとの時間を大切にしたい」とキャブコンを購入



CASE
03

ファミリー×ライトキャブコン 岡田さんファミリー(東京都)

家族5人で充実したキャンピングカーライフを送っている岡田さんファミリー。現在乗っているキャブコンは、岡田家にとって2台目のキャンピングカーとなる。もともとライトエースベースのコンパクトなキャブコンに乗っていたものの、3人の子供たちの成長に伴って車内が狭く感じられるようになり、以前よりワンサイズ大きいキャブコンへの乗り替えを決意したという。

あえて大型のキャブコンではなく、ボンゴベースのキャブコンを選んだのは、「日本

の道路事情でストレスを感じることがないサイズ」にこだわったため。現在は機動性に優れたコンパクトな愛車の利点を生かして、キャンピングカー仲間とのオフ会やキャンプ、スキー、くるま旅など、さまざまな用途で愛車のキャブコンをフル活用している。奥さまも子供たちも、キャンピングカーが大好き！愛車のキャブコンには、「子供たちが巣立つまでの限られた時間を、家族全員で共に過ごしたい」という、岡田さんの思いが込められている。



CASE
04

軽キャンパーで充実したセカンドライフを満喫！

夫婦×軽キャンパー 大橋さん夫妻(滋賀県)



定年退職を機に、以前からずっと欲しかった軽キャンパーを購入した大橋さん。コンパクトサイズの軽自動車ベースであることが、キャンピングカー選びの大前提だった。購入してからまだ日は浅いが、奥さまもストレスなく運転できて2人でゆったりと就寝できる軽キャンパーは、もはや大橋夫妻の生活には欠かせない頼もしい相棒となっている。

旦那さんの軽キャンパー活用法は、趣味の釣りがメイン。奥さまと2人で行く時は堤防でアジ釣り、1人で行く時はいかだに乗って

クロダイ、アジ、タチウオ釣りと、軽キャンパーの機動性を生かして思う存分趣味の世界に没頭している。対して、近所の畑で野菜を作っている奥さまは、畑仕事に軽キャンパーをフル活用。収穫した野菜や耕運機の運搬に利用するため、旦那さんよりも奥さまの方がクルマに乗る回数が多いそう。

そんな大橋夫妻の最大の楽しみは、夫婦2人で出かける月1回ペースの自由気ままなくるま旅。「やっぱり、1人より2人の旅が楽しいですね。いつかは、全国の道の駅を完全制覇したいです！」

泊まってみたい！ 泊まってみよう！！

RVパークに行こう！！



温泉&充実設備のRVパークで お手軽&快適キャンプを楽しむ



ご利用の手順



RVパークの利用は「地蔵温泉ゆに〜いく」のフロントで料金を支払うだけ(原則予約不要だが電話での予約も可能)。利用の案内などをフロントで紹介されるので、すぐにサイトに移動できる。



サイトは5m×10mサイズと10m×10mサイズの2タイプ。整備されたオートキャンプエリアは清潔で使いやすい。

Data

RVパークスバリゾートゆに〜いく
〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3435
☎ 0278-22-8448

利用料金 : 標準サイズ 2,980円/1台
ビッグサイズ 5,000円/1台
(トレーラー含む)

チェックイン : 当日13:30~22:00
チェックアウト : 翌日10:30

施設の駐車場を有料で開放して車中泊などが楽しめる「RVパーク」は全国で拡大中の施設だ。RVパークにはさまざまなスタイルのものがあるが、本格的なオートキャンプが可能な施設もあるので注目の的だ。

そんな充実施設のあるRVパークとして今回訪れたのは群馬県の「RVパーク スバリゾートゆに〜いく」だ。群馬県沼田市にある「地蔵温泉ゆに〜いく」に併設されるこのRVパークは、温泉が楽しめるのが最大の魅力。キャンピングカーをオートキャンプエリアに駐車してキャンプサイトを展開したら隣接する温泉をゆっくり楽しむこともできる。サイトは5m×10mの標準サイズ(4台)と10m×10mのビッグサイズ(6台)を用意。ファミリー利用から仲間を集めて大人数でのキャンプにまで対応する。きれいに整備されたサイトは快適で使い勝手も良い。また町から近いエリアなので近くにスーパーマーケットなどもあり、うっかり食材などを買い忘れた場合でも安心。思い立ったらすぐに出かけても安心して利用できる施設だ。またオートキャンプ初心者にも利用しやすい施設と言えるだろう。

施設には隣接される温泉の他にバーベキュー施設や釣り堀なども完備、さらには温泉施設内にはお食事施設もあるため、手ぶらでキャンプに出かけることもできる。温泉+

オートキャンプのお手軽感覚でアウトドアを楽しむには絶好のRVパークだ。

取材当日はキャンピングカーを買ってから半年という初心者キャンパーの小池さんファミリーと、キャンピングカー歴15年というベテランキャンパーの勝見さんご夫婦が利用していたので話をうかがった。

「RVパーク スバリゾートゆに〜いく」の魅力として口を揃えて言うのは“温泉”と“サイトの広さ”だ。おふたかたともにリピーターで温泉目当てで週末に急遽やってくることもあるという。また一般のオートキャンプ場でもある同施設はサイトの美しさや広さも非常に魅力的。オートキャンプの雰囲気を存分に味わうことができるRVパークだ。

RVパークを拠点にしてくるま旅をするユーザーも増えつつある昨今、タイプの違うRVパークを利用してそれぞれの魅力を味わうのも楽しい。そんな一つに「RVパーク スバリゾートゆに〜いく」を加えてはどうだろう。



RVパークスパリゾートゆに~いくの お楽しみポイントはココだ!



温泉ありバーベキューありの充実施設が魅力のRVパーク。

オートキャンプを楽しむのに加えて、多彩な楽しみ方ができるので紹介してみた。



温泉

露天風呂もある大浴場に加えて個室付きの貸し切り温泉(利用料1500円/1時間・平日)の用意もある。ファミリーで利用するにも絶好だ。ゆったりとした時間を過ごせるスペースだ。



BBQ

オートキャンプ場の横にはバーベキュー棟も用意されている。屋根付きなので天候にかかわらず利用できるのも魅力的。



釣り堀

キャンプサイトの脇には釣り堀まで完備。早めにRVパークに着いて子供たちと釣りを楽しむなんてこともできそう。



食事&リラクゼーション



温泉施設内には食事処やリラクゼーションルームなども完備。日帰り温泉を楽しむ感覚でRVパークを利用するのも良いだろう。

RVパークスパリゾートゆに~いくで聞いてみた!! 利用ユーザーさんの生Voice



初心者 ユーザー代表

小池 まさのりさん
まきさん
こうたろうくん
福&源
(ワンちゃん)



家族3人とワンちゃんが広々寝られるようにポップアップルーフ付きのキャンピングカーをチョイス。普段の足としても利用する。



電源が利用できるのもRVパークのメリットだという。施設の広さや使いやすさが何度も利用している理由の一つだ。

愛犬と旅がしたくて半年前にキャンピングカーを買った小池さん。普段使いも考えてコンパクトキャンパーをセレクト。自宅から約1時間というこちらのRVパークはすでに3回利用しているというリピーター。オートキャンプの楽しさを覚えたのもこのRVパークだ。自宅から近いことや広いサイト、温泉、電源などの施設が充実しているのが魅力だという。RVパークは安心して手軽に利用できるのが良いという。今後は他のRVパークも積極的に利用していく予定。



ベテラン ユーザー代表

勝見 岳彦さん
さかえさん
坊(ワンちゃん)



数々のキャンピングカーを乗り継いで、乗り心地の良さや居住性からバスコンに落ち着いたというオーナー。年間70泊以上を实践。



夫婦でコーヒータイム。広いサイトは静かでのんびりしているの덕つるげるといふ。

7台のキャンピングカーを乗り継いでいるベテランキャンパーの勝見さん。現在はシビリアンベースのワンオフキャンパーに乗る。このRVパークはすでに何度も利用するリピーター。温泉があることやキャンプサイトが広いのが魅力だという。手ごろな価格で安心して泊まれるRVパークは旅の拠点には魅力的だという。旅程をRVパークのある地域で決めることも多い。「RVパーク スパリゾートゆに~いく」のようにしっかりしたキャンプサイトを持つRVパークが増えて欲しいとか。

泊まってみたい！ 泊まってみよう!!

RVパークなら安心快適！ くるま旅&車中泊の“必需品”!!



快適な旅を応援する

RVパーク6つの特徴



- ① ゆったりとした駐車スペースで、1週間くらいの滞在が可能。
- ② 24時間利用可能なトイレがある。
- ③ 100V電源が使用可能。
- ④ 入浴施設が近隣にあるか、あるいはシャワー設備が整っている。
- ⑤ ゴミ処理が可能。
- ⑥ 入退場制限がゆるやかで、多くが予約なしでも利用できる。

※ただし、各施設ごとに異なる料金設定やルールがありますので注意してください。

RVパークとは、キャンピングカーユーザーや車中泊ファンの皆さまに、

「快適に安心して車中泊ができる場所」を提供するために日本RV協会が推進しているシステムです。

基本的には、駐車場での車中泊を公認されたものとお考えください。

有料ですが、電源設備なども備えています。そして何より安心と安全が利用者の皆さまに好評をいただいています。

ただし、いわゆるキャンプ場ではないので車外での調理などは基本的には出来ません。

前のページでは、RVパークを実際に取材して、利用方法や利用したユーザーさんの感想なども掲載しましたが、

ここでは、最近オープンした(2017年12月1日現在)4カ所のRVパークをご紹介します。

くるま旅や車中泊に一度利用してみたいはかがですか。

なお、詳しい使用方法や全国のRVパークリストは <http://kurumatabi.com/rvpark> を参照してください。

沖縄県国頭郡 RVパーク今帰仁キャンプ場

沖縄県北部、国頭郡今帰仁村の「今帰仁キャンプ場」内にある、海と山に恵まれたRVパークです。目の前が海なので釣りも楽しめます。釣った魚をその場でバーベキュー！なんてワイルド。また、RVパーク

がキャンプ場内にあるので、ある程度の利便性があり、ボートレンタルやボート遊覧等でワルミ海峡を実際に体感でき、海の楽しみも味わえます。自然遊びの拠点としてもご利用ください。



Data

〒905-0412 沖縄県国頭郡今帰仁村湧川590-1
☎ 0980-47-5349 (電話対応時間9:00~17:00)
<http://marine-life.jp/nakijin>



- 利用料金: 1泊3,500円/1台(トレーラー含む) 別途入場料300円/1人
- 利用可能台数: 3台(車幅2100mm以内のクルマなら利用可能)
- 利用可能期間: 通年
- ○チェックイン: 当日10:00~17:00
- チェックアウト: 翌日10:00(予約が入っていない場合チェックアウトは12:00まで可)
- 予約: 1日前17:00までに予約
- ベッド: 可 ※[ベッドをお連れの場合のルール]をお守りください
- 設備など: ○トイレ・洗面所/24時間利用可能 ○ゴミ処理/可(有料)ゴミ袋1枚につき200円~500円 ○電源の有無/あり(施設利用料金に含まれます) ○発電機の使用/不可
- その他利用可能施設 ○レンタルボート(カヤック、2馬力ボート、ローボート)有料/○釣り可能
- 利用に関する注意事項 ○アイドリング禁止 ○打ち上げ花火禁止 ○ペットにリードをつけて管理し、排泄物はお持ち帰りをお願いします ○消灯後は就寝時間となります ○なるべく事前のご予約をお願いします



今帰仁キャンプ場

〒905-0412 沖縄県国頭郡今帰仁村湧川590-1 ☎ 0980-47-5349 (9:00~17:00) <http://marine-life.jp/nakijin>

■ 利用料金: 大人 300円 小人 300円 ■ 入浴時間: 8:00~22:00 (不定休) ※キャンプ場に常設されたシャワーが使用可能

RVパーク
からの距離
約0.0km

長野県上高井郡 RVパーク小布施屋

RVパークがある小布施町は、4km四方のコンパクトな町ですが、人口のおよそ100倍の観光客が訪れる観光地としても有名です。葛飾北斎の美術館「北斎館」や栗菓子有名なほか、一般の庭を開放して見ることでできるオープンガーデンも現在では100軒を超えています。町並みもとても綺麗で、RVパークや駐車場にキャンピングカーを止め、徒歩や自転車ゆっくり散策してください。RVパークには、小布施町最大の農産物直売

所「ろくさん」が併設されており、毎朝、旬の農産物が並びます。また、フローラルガーデンおぶせも併設されており、季節の草花を整備した庭園をお楽しみいただけます。さらに、フローラルガーデンおぶせの中には、JR九州のななつ星をデザインしたことで有名な水戸岡鋭治氏がデザインした農村レストラン「レストランOBUSE花屋」も併設されており、夜はディナーをゆっくりお楽しみいただけます。



Data

〒381-0209 長野県上高井郡小布施町大字中松496-1
☎ 026-242-6600 <http://www.obuse.or.jp>
アクセス：長野上信越自動車道「小布施スマートIC」からクルマで10分。長野電鉄小布施駅からクルマで7分

- 利用料金：1泊2,000円/1台(トレーラー含む) ■ 利用可能台数：8台(電源あり3台/電源なし5台) ■ 利用可能期間：平日及び日祝・日祝の前日・春休み・お盆(冬期間は利用不可)
- ○チェックイン：当日10:00~16:00 ○チェックアウト翌日9:30(時間厳守をお願いします) ■ 予約：1日前17:00までに予約 ■ ベット：可(建物内へのベットのお立ち寄りはお遠慮ください。また、民家が近いので夜間の鳴き声などにご配慮ください) ※「ベットをお連れの場合のルール」をお守りください ■ 設備など：○トイレ・洗面所/24時間利用可能 ○ゴミ処理/可(有料)ゴミ専用袋1枚あたり500円 ○電源の有無/あり(施設利用料金に含まれます)○発電機の使用/可能(時間指定あり) ※民家が近いので夜間の使用はご配慮ください ■ その他利用可能施設○自動販売機/○農産物直売所(営業時間：9時~17時)/○飲食施設(レストランOBUSE花屋)夜は要予約/○小布施屋 <http://www.obuse.or.jp>/○農産物直売所「ろくさん」 <http://www.obuse.or.jp/chokubai.html>/○フローラルガーデンおぶせ <http://www.floral.obuse.or.jp>/○レストランOBUSE花屋 <http://www.obuse.or.jp/hanaya.html> ■ 利用に関する注意事項 ○駐車スペースは、若干の傾斜がありますので、あらかじめご了承ください



おぶせ温泉あけびの湯

長野県上高井郡小布施町雁田不動1311 ☎ 026-247-4880 <http://obuse-akebinoyu.co.jp>

■ 利用料金：【通常】大人 600円 小人 300円 【朝風呂】大人 500円 小人 250円 ■ 入浴時間：6:00~22:00(定休日なし)

RVパーク
からの距離
約0.8km

RVパークについて皆さんの意見を聞いてみた 利用者の満足度は非常に高く、「良かった」という回答は82.3%

ここでは、日本RV協会が、RVパークに関するアンケート調査を行ったので、その結果の中から主なものをピックアップしてお知らせしよう。なお、この調査は、2017年9月18日から10月17日にかけて、協会のホームページに寄せられた約170件のアンケートデータをもとに行われた。

まずは、RVパークの利用状況だが、キャンピングカーを購入してから現在に至るまでに、RVパークに泊まったことのあるユーザーは約半数の49.4%に達し、「宿泊はしていないが、寄ってみたことはある」(14.9%)という人を加えると64.3%のユーザーがRVパークに立ち寄っていたことが分かった。前回2015年の同じ調査と比べて、泊まったことのあるユーザーは、約15ポイント上昇し、ユーザーに徐々に浸透していると言えると思う。

さてその満足度だが、一番多かった回答は「まあまあ良かった」というもので、その率は57.0%。次点には「たいへん良かった」(25.3%)という回答が続き、この2つを合わせると、82.3%のユーザーが満足している様子が浮かび上がってきた。

また、「良かった」と答えた人々から具体的な評価ポイントを尋ねたところ、「施設にある温泉や入浴設備」への評価が高く(41.2%)、次に「RVパーク自体の設備」(27.9%)が入り、3番目

には「管理者の対応」(13.2%)という回答が続いた。

「今後も、全国のRVパークにも泊まってみてみたいと思いますか?」という設問に対しては、62.5%の人が「旅行中スケジュールが合えば、その土地のRVパークに泊まってみてみたい」と答え、「積極的に全国のRVパークを調べて泊まってみてみたい」(13.3%)という回答と合わせると、なんと75.8%のユーザーが今後もRVパークを利用してみたいと思っていることが判明した。また、泊まってみてみたいRVパークの条件として、一番重要だと思っているものを聞いたところ、トップは、お風呂に関するもので、「施設にある

温泉や入浴設備の充実度」という回答が半数を超える54.6%を獲得した。次点は「トイレ等設備の清潔感」(13.5%)という回答が続いた。

最後に、「RVパークの今後の展開で、一番望まれることは何ですか?」という設問に対しては、「さらなる全国への普及」(42.0%)というものが半数近い回答を集め、2番目には「料金をもう少し安くしてほしい」(19.6%)、3番目には「夜間、就寝時の安心と安全」(9.8%)という回答だった。

以上のようにRVパークに対するユーザーの利用機会や満足度は高く、これからも全国への普及を希望する声も多かったことが分かった。



愛媛県今治市 RVパークしまなみ海道大三島

目の前の「戸板海岸」は愛媛県指定の自然海浜保全地区で、瀬戸内の穏やかな砂浜・海を満喫いただけます。朝晩の静かな時間に聞こえる波の音に心が癒されます。当施設はコインランドリーに併設しておりますので、旅の途中の衣類の洗濯・乾燥はお任せく

ださい。毎年夏に開催される『サマーフェスタinかみうら』の立干し網(魚のつかみ取り)会場は目の前。また向いの「生口島」で毎年お盆頃に行われる花火大会はすぐ対岸で行われるため、ベストスポットとしてもお楽しみいただけます。



Data

〒794-1402 愛媛県今治市上浦町井口7340-1

☎ 0897-87-2707

アクセス:西瀬戸自動車道(しまなみ海道)「大三島IC」からクルマで2分。コンビニ(現在はサークルK)すぐ隣の青いコンテナハウスが目印です。



- 利用料金:1泊1,500円/1台(トレーラー含む) ■ 利用可能台数:3台 ■ 利用可能期間:通年 ■ ○チェックイン当日13:00~18:00 ○チェックアウト翌日12:00 ■ 予約:1日前17:00までに予約(当日予約も受け付け可能ですが、なるべく前日までのご予約をお願いします) ■ ペット:可 ※「ペットをお連れの場合のルール」をお守りください ■ 設備など:○トイレ・洗面所/24時間利用可能 ○水道(地下水につき飲料不可)○ダンプステーション ○コインランドリー(A M7:00~P M9:00) ○ゴミ処理/可(無料) ○電源の有無/あり(施設利用料金に含まれます)○発電機の使用/可能(時間指定あり) ■ 利用に関する注意事項 ○当日予約も受け付け可能ですが、なるべく前日までのご予約をお願いします ○オートキャンプサイトとは違い、屋外での調理等はできません ○簡易的な洗い場はありますが、地下水利用のため、飲料水が必要な方は別途ご相談ください。



多々羅温泉「しまなみの湯」

〒794-1402愛媛県今治市上浦町井口7848-1 ☎ 0897-87-4100 <http://www.imabari-shimanami.jp/tataraoonsen>

- 利用料金:大人 310円 小人 160円 高齢者(65歳以上) 250円 ■ 入浴時間:10:00~20:00(受付は19:30まで)
- 定休日:火曜日(火曜日が祝祭日の場合は営業)

RVパークからの距離
約0.8km

鹿児島県肝属郡 RVパークやぶさめの里総合公園

RVパークに併設されている農林業体験交流センター「高山やぶさめ館」は、やぶさめの里総合公園内にある多目的総合施設です。加工体験室・宿泊室・多目的ホール・交流室などの他に展示コーナーなど誰もが自由に訪れ、

親しめるようになっています。やぶさめの里公園はお子様からご年配の方まで、幅広く楽しんでいただける設備が沢山あります。遊んだ後は、家族みんなで温泉に入って疲れを癒してください。



Data

〒893-1207 鹿児島県肝属郡肝付町新富5590-35

☎ 0994-31-5199

<http://www.yabusamenosato.jp>



- 利用料金:1泊1,500円/1台(トレーラー含む) ■ 利用可能台数:4台 ■ 利用可能期間:通年 ■ ○チェックイン:当日8:00~22:00 ○チェックアウト:翌日8:00~22:00 予約:特に必要なし ※予約は原則不要ですが、事前に連絡すれば予約も可能です ■ ペット連れ:可 ※「ペットをお連れの場合のルール」をお守りください ■ 設備など:○トイレ・洗面所/公園内のトイレは24時間利用可能(高山やぶさめ館内は6:00~22:00の間利用可能) ○ゴミ処理:可(無料) ○電源の有無:あり(施設利用料金に含まれます) ○発電機の使用:不可 ■ その他利用可能施設 ○お食事処 ○売店(温泉ドーム内) ○公園(遊具等完備) ○100V, 200V充電設備



高山温泉ドーム

鹿児島県肝属郡肝付町新富5590-35 ☎ 0994-31-5711

- 利用料金:大人 310円 小人 150円 ■ 入浴時間:6:30~22:00 ■ 定休日:毎月第3水曜日

RVパークからの距離
約0.0km

キャンピングカーユーザーは温泉が好き

前ページのRVパークへのアンケート調査の中でも、泊まっていたいRVパークの条件として、一番重要だと思っているもののトップは、「施設にある温泉や入浴設備の充実度」ということで、ここでは協会のアンケートデータをもとに温泉についての、キャンピングカーユーザーの意識をちょっと取り上げてみた。

「温泉は好きですか?」という問いに対し、「かなり好きである」と答えた人は66.5%。「どちらかというところ好きの方である」と答えた人は25.6%を示し、両者を合わせると、92.1%のユーザーが「温泉は好き」と答えていた。

このような傾向を反映して、キャンピング

カーユーザーの温泉に立ち寄る率も非常に高く、「1週間以内のキャンピングカー旅行で温泉に立ち寄る頻度」は、一番多かった回答が「7回」(28.0%)。以下「6回」(14.6%)、「5回」(13.4%)という回答が続く、これらを合わせると、1週間の旅行では56%の人が5回以上温泉に寄っているということがわかった。

また、キャンピングカーユーザーが旅行計画を立てるときには、温泉をまず考えるということもいえると思う。

日本全国に温泉、立ち寄り湯、スーパー銭湯といった入浴アミューズメントが浸透している現在、キャンピングカーユーザーの大半が温

泉好きという状況を考えると、くるま旅の形もおのずと決まってくるだろう。温泉施設などやその近隣に宿泊できる場所さえあれば、旅行の途中にゆっくりと温泉を楽しめるキャンピングカーの利点が、温泉志向の強いくるま旅を一層盛んにさせるだろう。



01 いまだ復興中の熊本地震の災害支援に、 キャンピングカーを「災害対策・救援車」として寄贈

キャンピングカーは、レジャーだけでなく災害時にも有効な機能を持っているクルマとして知られていますが、その特性を生かして、東日本大震災や九州熊本地震の災害支援車としても活躍しています。

日本RV協会では、一昨年に引き続き、いまだ復興中の熊本地震の災害復興に役立ててもらいたいと、キャンピングカーを寄贈しました。

これは、いまだに続く地震やその二次災害を予防し、有事の場合に救援・支援する車両が足りないという地元熊本市や被災者の声を聞き、日本RV協会九州地域部会が“災害対策・救援車”として熊本市へキャンピングカーを寄贈したものです。

県内屈指の大型イベントである「九州キャンピングカーショー」を開催してきた

産業展示場「グランメッセ熊本」は、先の熊本地震で傷つき、その影響で一昨年は同イベントも中止を余儀なくされましたが、昨年7月に震災復旧工事を終えリニューアルオープンし、9月30日(土)より10月2日(月)までの3日間「九州キャンピングカーショー2017」が開催されました。

その期間中である9月30日(土)にグランメッセ熊本の特設ステージにおいて贈呈式が行われ、日本RV協会の降旗貴史会長から熊本市政策局危機管理監の井上学様へキャンピングカーの車両キーが手渡されました。

日本RV協会では、このように各地で、不幸にして起こってしまった災害の復興支援にも積極的に取り組んでおり、各地の皆さまに喜んでいただいております。



02 マナーを守って快適なくるま旅を！ 日本RV協会では公共駐車場で「マナー10カ条」を設定しています

キャンピングカーはそのスタイリングからどこにいても目立つクルマといえます。だからこそマナーは人一倍守らなければなりません。キャンピングカーユーザーの増加に伴って、一部の心ないユーザーのマ

ナー違反がニュースにもなり、道の駅や公共の駐車スペースから締め出されるという事態も発生しています。日本RV協会では公共駐車場で「マナー10カ条」を設定して、キャンピングカーユーザーにマナー厳守を

お願いしています。

キャンピングカーを上手に使って楽しくくるま旅をするためには、まずはマナーを守ることが基本です。マナーを守ってみんなで楽しくくるま旅を！

1. 長期滞在を行わない



道の駅や高速道路のSA・PAなどは宿泊施設ではないので、そこにおける休息は、必要最小限の仮眠にとどめ、連泊・長期滞在を行わないようにしましょう。また、キャンピングトレーラーを公共の駐車場に放置して、むやみにヘッドのみで遠出をするようなことは避けましょう。

2. ゴミの不当投棄はしない



旅行中や移動中に発生した生活ゴミは、ゴミ箱があっても投棄することはやめましょう。また食器などは使い捨てのモノは避け、基本的にゴミは持ち帰ることを心がけましょう。

3. 発電機の使用には注意を払う



公共駐車場における発電機の使用は、時と場合を十分に考慮し、他の利用客が休息している時や近所に民家があるような場所では、使用しないようにしましょう。

4. キャンプ行為は行わない



道の駅やSA・PAなどでは、たとえ短時間の休息であっても、オーニングを広げたり、椅子・テーブル・コンロなどを車外に持ち出して、キャンプ場のように利用することはやめましょう。また、周囲に配慮し特に早朝・夜間の大きな話し声や生活音に注意しましょう。

5. グレータンクの排水は行わない



生活排水用のグレータンクの処理も、その場で垂れ流したり、側溝に流したりしないように心がけましょう。また、施設に許可なく給水することはやめましょう。

6. オフ会の待ち合わせは慎重に



オフ会やクラブミーティングで公共駐車場に集合する場合は、他の利用客から駐車場を占拠して騒いでいると誤解されないように振る舞いましょう。

7. 許可なく公共の電源を使用しない



許可なく公共の電源にキャンピングカーを接続し、その電源を利用することはやめましょう。

8. トイレ処理は控える



公共駐車場では、カセットトイレやポータブルトイレの処理は控えましょう。

9. 車椅子マークの所に駐車しない



道の駅や高速道路のSA・PAにある車椅子マークの駐車スペースには、健常者のみが乗車している場合は駐車しないようにしましょう。

10. 無駄なアイドリングをしない



無駄なアイドリングによる排気ガスの流出や騒音は、大気汚染や地球温暖化にも悪影響をもたらすので、エンジンをストップを心がけ、ECOドライブを行いましょう。